

記入の手引き

2022 年度 助成プログラムA「食育活動」 助成金交付申請書

年 月 日

申請団体情報

団体の名称	(フリガナ)			
所在地	(〒 -)			
	(電話番号)			
代表者の職名・氏名	職名	氏名	捺印	
		(フリガナ)	Ⓜ	
連絡責任者の職名・氏名	職名	氏名	Ⓜ	
		(フリガナ)		
	電話番号			
	E-mail			
(団体の目的)				
(団体の活動内容)				
活動年数	年間活動頻度	のべ参加人数		
連携団体	ホームページURL			
直近の活動実績 (3件まで)				
助成や受賞の実績				
運営母体情報	運営母体の名称			
	代表者名			
	所在地	(〒	※上記団体と同じであれば記入は不要です。	
	電話番号			

※記入欄の大きさは調整いただけますが、ページ数を変更しないでください。

事業計画書

下記のとおり貴財団の助成を申請します。

記

助成申請事業名	
助成事業の概要	助成を申請する事業の目的と内容を簡潔にご記入ください。
事業活動エリア	事業を行うエリアが団体の所在地と異なる場合は、活動エリアを記入ください
自己資金以外に助成金が必要な理由	事業を行う事の必要性ではなく、助成金の必要な理由を記入ください。
助成金申請額	万円単位で申請額をご記入ください。
	他の助成金申請の有無 有 : 無
(他の助成「有」の場合は、その助成事業名称を記載ください)	

助成事業の使用に関する計画

(1) 助成事業の目的 (助成事業によって実現したいこと)

(1) について

今回助成を申請する事業の実施により見込まれる効果、めざすところを記入してください。

(2) 助成事業の内容

(今回助成を申請する事業内容を具体的に記入してください)

(2) 以降について

選考基準①～⑥を考慮し、できるだけ詳細に記入してください。

- ① 適合性 財団の助成目的に合った活動であること。
- ② 独自性 手法に独自性があり、自らの意思が反映されていること。
- ③ 実現性 活動計画が実現可能で、収支計画が適切であり、着実に実施する体制が整っていること。
- ④ 継続性 自立した運営をめざし、活動の継続が期待できること。
- ⑤ 社会性 市民や地域社会に理解され、発展が期待できること。
- ⑥ 新型コロナウイルス感染対策 (3密回避等) がなされていること

※記入欄の大きさは調整いただけますが、ページ数は変更しないでください。

